

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法		講義		講義時期		前期		
授業科目	コンピュータ概論 I A(コンピュータ概論)	担当者	伊禮 利一		科目必修区分	必修				
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定(3級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 									
授業計画	内 容							授業時間数		
	1	【コンピュータ概論:1章】コンピュータの基礎知識							6	
	2	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)							10	
	3	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)							10	
	4	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)							10	
	5	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)							9	
	6	【6章】マルチメディア							4	
	7	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)							12	
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	合計時間数								61	
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(3級・2級)									
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。									
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト30pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験20pt 学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	教員		備考							
実務経験紹介										

シラバス

令和 6 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論IIA(マネジメントと情報化)	担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	<p>戦略およびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定3級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説			2
	2	第1章 システム開発とマネジメント			22
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略			9
	4	第3章 企業と経営戦略			12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			15
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				60
教科書	<p>マネジメントと情報化 サートファイ情報処理検定問題集(3級・2級)</p>				
時間外学習	<p>授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。</p>				
成績評価方法	<p>出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする</p>				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅢA(システム開発技術)	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 データベース			
	2	1節 データのモデル化			2
	3	2節 データベース設計			2
	4	3節 データの正規化			2
	5	4節 SQLの基本			2
	6	5節 SQLの応用			2
	7	6節 データベースの演算			3
	8	7節 データベース管理システム			2
	9	8節 データベース応用			2
	10	章末テスト データベース レポート形式			3
	11	第2章 ネットワーク			
	12	1節 ネットワーク方式			4
	13	2節 OSI基本参照モデル			4
	14	3節 TCP/IPプロトコル			4
	15	4節 IPアドレス			4
	16	5節 ネットワーク管理			4
	17	6節 TCP/IPアプリケーション			4
	18	7節 ネットワーク応用技術			4
	19	章末テスト ネットワーク レポート形式			4
	20	サーティファイ情報処理検定3級対策授業			10
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				62
教科書	システム開発技術 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラム設計 I A	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 アルゴリズム入門	アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造		5
	2	第2章 流れ図の基本パターン	流れ図 連続型 選択型 反復型		5
	3	第4章 計算のアルゴリズム	合計平均 べき乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題		6
	4	第6章 配列操作	1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題		6
	5	第3章 疑似言語の基本パターン	疑似言語とは 疑似言語の表記法		5
	6		疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題		5
	7	第5章 手続・関数	手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題		6
	8	第7章 探索のアルゴリズム	探索処理とは 線形探索 線形探索 ブロック探索		6
	9		2分探索 ハッシュ探索 練習問題		6
	10	第8章 整列のアルゴリズム	整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法		7
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				57
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	出席評価点10pt、チェックテスト50pt、評価テスト20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語 I A (Java)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)			2
	2	Javaとオブジェクト指向			1
	3	Javaの基礎-Javaとは			1
	4	Javaの基礎-プログラムの構造確認			1
	5	Javaの基礎-演算子を使った計算、演算子の優先順位			2
	6	Javaの基礎-変数を使ったプログラム			2
	7	Javaの基礎-標準入力			2
	8	Javaの基礎-型変換			2
	9	分岐-条件分岐とは			1
	10	分岐-if文、if文の分岐を増やす、if文のネスト			2
	11	分岐-複数の条件を組み合わせる			2
	12	分岐-switch文			2
	13	繰り返し-繰り返しとは			2
	14	繰り返し-for文、多重ループ			2
	15	繰り返し-while文、do-while文、繰り返しの応用			2
	16	繰り返し-配列			2
	17	クラスとメソッド-クラスとインスタンス			2
	18	クラスとメソッド-メソッドの定義			2
	19	クラスとメソッド-クラスのメンバ、staticメンバ			2
	20	カプセル化-カプセル化とは			1
	21	クラスの継承-継承とは			1
	22	クラスの継承-スーパークラスとサブクラス			1
	23	クラスの継承-ポリモフィズム			1
	24	クラスライブラリ(Stringクラス、Integerクラス、列挙型)			4
	25	総合演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)			4
	26	検定対策(Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)			26
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				72
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集				
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)				
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習	担当者	赤嶺達也・渡具知斉	科目必修区分	必修
授業概要	・ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。				
到達目標	・ホームポジションでタイピングできる。 ・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの利用やデータ整理など) ・Officeソフト(Excel・Word・PowerPoint)の基本操作ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業スケジュール・内容・目的など)			2
	2	Section1(Windows11) STEP1・Windows11の起動と基本操作			2
	3	Section1(Windows11) STEP2・ファイルとフォルダーの操作			3
	4	Section2(Word) STEP1・Wordの基礎を学ぶ			5
	5	Section2(Word) STEP2・文章の作成			6
	6	Section3(Excel) STEP1・Excelの基礎を学ぶ			3
	7	Section3(Excel) STEP2-1・表の作成			4
	8	Section3(Excel) STEP2-2・関数の利用			3
	9	Section3(Excel) STEP3・グラフの作成			4
	10	Section4(PowerPoint) STEP1・PowerPointの基礎を学ぶ			3
	11	Section4(PowerPoint) STEP2・スライドの作成			6
	12	Section4(PowerPoint) STEP3・スライドを使って発表してみよう			6
	13	発表用スライド作成および発表会			10
	14				
	15	タイピング練習:各授業時間の最後に練習時間を設ける)			
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				57
教科書	イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題				
成績評価方法	課題提出40pt、文章入力スピード20pt、プレゼン発表20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナー I A	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する 立場の違いを考えた言葉遣いができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)			4
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)			3
	3	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)			2
	4	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	5	【練習問題】			
	6	尊敬語と謙譲語の混同			2
	7	二重敬語			1
	8	【確認テスト】			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				16
教科書	実践ビジネスマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率25pt、授業態度25pt、提出物25pt、期末テスト25pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザイン I	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1. 導入			1
	2	2. 良い習慣を身につける			1
	3	3. コミュニケーション力を高める			4
	4	4. 他者理解			4
	5	5. 自己理解			2
	6	6. 思いを言語化する			2
	7	7. スケジュール管理			1
	8	8. 情報収集力			1
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				16
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	授業態度30pt、取り組み姿勢40p、提出物30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを相手に伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章:感謝			2
	2	第2章:感動			2
	3	第3章:思いやり・気くばり			2
	4	第4章:明朗			2
	5	第5章:挨拶			2
	6	第6章:素直			2
	7	第7章:プラス思考			2
	8	第8章:チャレンジ精神			3
	9	第9章:永久戦力			2
	10	志学 I まとめ、振り返り			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				21
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	授業態度30pt、科目終了後の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法		講義		講義時期		後期	
授業科目	コンピュータ概論 I B(コンピュータ概論)	担当者	伊禮 利一		科目必修区分	必修			
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定(2級1部)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 								
授業計画	内 容								授業時間数
	1	【7章】AI(人工知能)							5
	2	【8章】アルゴリズムとデータ構造							5
	3	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)							15
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	合計時間数								25
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(2級)								
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。								
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト30pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験20pt 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員	備考							
実務経験紹介									

シラバス

令和 6 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅡB(マネジメントと情報化)	担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	<p>戦略およびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第4章 OR・IE			9
	2	第5章 企業会計			2
	3	第6章 法務と標準化			8
	4	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			15
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			15
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
30					
	合計時間数				49
教科書	マネジメントと情報化 サートファイ情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅢB(システム開発技術)	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第3章 情報セキュリティ			
	2	1節 情報セキュリティ			4
	3	2節 システムへの攻撃手法			4
	4	3節 暗号化技術			4
	5	4節 認証技術			4
	6	5節 セキュリティ技術			4
	7	6節 セキュリティリスク			4
	8	7節 セキュリティ管理			4
	9	章末テスト 情報セキュリティ レポート形式			4
	10	サーティファイ情報処理検定2級1部対策授業			10
	11	サーティファイ情報処理検定2級2部対策授業			5
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				47
教科書	システム開発技術 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラム設計 I B	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第8章 整列のアルゴリズム その他の整列方法 練習問題			4
	2	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン オブジェクト指向とは			4
	3	オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題			4
	4	第10章 データ構造	データ構造の概要 配列 リスト		7
	5	スタックとキュー 木構造 練習問題			7
	6	検定対策(サーティファイ2級2部)			22
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数			48	
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度				
成績評価方法	出席評価点10pt、検定取得50pt、評価テスト20pt、授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語 I B (Java)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2,3級が取得できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第4章 クラスとメソッド(前期おさらい(メソッド、メンバの復習))			4
	2	第4章 クラスとメソッド(オーバーロード、ジェネリクス)			2
	3	第5章 カプセル化(カプセル化、アクセス修飾子)			2
	4	第5章 カプセル化(コンストラクタ)			1
	5	第5章 カプセル化(パッケージ)			2
	6	第6章 クラスの継承(継承、スーパークラスとサブクラス)			2
	7	第6章 クラスの継承(オーバーライド、抽象クラスと抽象メソッド)			2
	8	第6章 クラスの継承(サブクラスからスーパークラスへのアクセス、継承と修飾子)			2
	9	第6章 クラスの継承(ポリモフィズム)			1
	10	第7章 クラス応用(インタフェース、定義と継承、クラス継承とインターフェースの実装)			4
	11	第7章 クラス応用(内部クラス、ローカルクラスと無名クラス、ラムダ式)			4
	12	第8章 例外クラス(エラーとは、try-catch文、finally文)			4
	13	第8章 例外クラス(throw文、throwsキーワード)			2
	14	第9章 クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値操作、列挙型)			5
	15	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションフレームワーク)			1
	16	第10章 コレクションフレームワーク(List)			2
	17	第10章 コレクションフレームワーク(Set)			2
	18	第10章 コレクションフレームワーク(Map)			2
	19	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションとラムダ式、API)			2
	20	第11章 ファイル操作(ファイル操作の基本、入出力とストリーム、ファイルの読み書き)			4
	21	第11章 ファイル操作(効率化、文字コード指定、区切り文字ごとの読み込み)			4
	22	第12章 マルチスレッド(マルチスレッド、Threadクラス、Runnableインタフェース)			4
	23	検定対策(Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)			20
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				78
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2,3級過去問題集				
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)				
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習	担当者	山下 修	科目必修区分	必修
授業概要	<p>下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。 情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。 また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)			1
	2	演習:動画視聴およびグループワーク①			4
	3	演習:今年度(下期対策)試験(午前)①			4
	4	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)①			2
	5	演習:動画視聴およびグループワーク②			4
	6	演習:今年度(下期対策)試験(午前)②			4
	7	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)②			2
	8	演習:動画視聴およびグループワーク③			4
	9	演習:今年度(下期対策)試験(午前)③			4
	10	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)③			2
	11	演習:動画視聴およびグループワーク④			2
	12	演習:今年度(下期対策)試験(午前)④			4
	13	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)④			4
	14	演習:今年度(下期対策)試験(午前)			3
	15	講義:今年度(下期対策)試験解説(午前)			3
	16	演習:今年度(下期対策)試験(午後)			3
	17	講義:今年度(下期対策)試験解説(午後)			4
	18	演習:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験対策(午後)			5
	19	講義:情報処理技術者試験(セキュリティ分野)試験解説(午後)			5
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
合計時間数				64	
教科書	出るところだけ! 情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2024年版、IPAサイト				
時間外学習	試験学習サイトの使用				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習 I (HTML)	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。				
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【Webサイト作成の事前準備】			2
	2	【HTMLの基本】			5
	3	【CSSの基本】			5
	4	【Webサイトの作成】			5
	5	【レスポンス対応】			5
	6	【Webサイトの集客】			5
	7	【Webサイトの公開】			5
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンダード受験に向けて】			20
	9	【Bootstrap5の特徴と導入】			5
	10	【グリッドシステムを利用したページレイアウト】			5
	11	【コンテンツの書式設定】			5
	12	【Bootstrapを利用したWeb制作】 制作課題			5
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				72
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集、Bootstrap4ファーストガイド				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
	検定合格基準に達していない学生への補講対応				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出30pt、出席率20pt、検定取得状況30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (LinuC 101)	担当者	渡具知 斉・大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ用OSとして広く利用されている Linux を講義と実習を通して理解する。実習環境を通じて、Linux の基本構成やコマンドを学習し操作できるようになる。LinuC 101 試験の合格を目標とする。				
到達目標	1. Linux 環境のインストールができる 2. Linux コマンドを理解し操作できる 3. LinuC 101 試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:学習の進め方、LinuC レベル1について			1
	2	Linux とは、コンピュータの基本			4
	3	環境構築(仮想環境)			2
	4	1章:Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用			12
	5	2章:ファイルとディレクトリの操作と管理			10
	6	3章:GNU と Unix のコマンド			10
	7	4章:リポジトリとパッケージ管理			10
	8	5章:ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			10
	9	試験対策(問題集利用)			44
	10	LinuC 101 本試験			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				105
教科書	<ul style="list-style-type: none"> Linux教科書 図解でパッとわかる LPIC/LinuC 最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本[101試験, 102試験対応] Linux教科書 LinuC レベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 				
時間外学習	実習環境を用いた復習、オンライン学習 Ping-t を用いた試験対策				
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出40pt、本試験結果30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(OCJ-P)	担当者	伊禮 利一・山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Javaプログラマ Silver SE 17もしくはBronze 試験合格に向けて演習を含めた学習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Java言語の基本文法について説明ができる。 オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 Java言語の上級者の指導のもとで開発作業を行うことができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	シラバス説明・Java開発環境の整備			2
	2	【教科書】第1章 Java の概要と簡単な Java プログラムの作成			6
	3	【問題集】			
	4	【教科書】第2章 Java の基本データ型と文字列の操作			6
	5	【問題集】			
	6	【教科書】第3章 演算子と条件分岐			7
	7	【問題集】			
	8	【教科書】第4章 繰り返しと制御文の組み合わせ			11
	9	【問題集】			
	10	【教科書】第5章 クラスの宣言とインスタンス化			9
	11	【問題集】			
	12	【教科書】第6章 継承とインタフェース			12
	13	【問題集】			
	14	【教科書】第7章 例外処理			12
	15	【問題集】			
	16	OCJP 中間試験(Bronzeレベル模擬試験)			2
	17	OCJP 模擬試験・解説① Bronze WEB試験			4
	18	OCJP 模擬試験・解説② Silver 模擬試験			6
	19	OCJP 模擬試験・解説③ Silver模擬試験			6
	20	OCJP 本番試験(2024年7月30日火曜日、31日水曜日予定)			5
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				88
教科書	【教科書】オラクル認定資格教科書 Javaプログラマ Silver SE 17(試験番号1Z0-825) 【問題集】徹底攻略Java SE Bronze問題集[1Z0-818]				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を推奨				
成績評価方法	授業態度20pt、中間試験20pt、模擬試験3回30pt、本番試験(10pt) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	開発実習 I (基礎)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語でのソフトウェア開発について、統合開発環境の準備や使い方を学び、基本アルゴリズムやデータベース利用、チーム開発でのバージョン管理システムの利用などの演習を通し、ソフトウェア開発の下流工程のプログラミング、コーディング、デバッグとチーム開発の技能を習得する。				
到達目標	1. 統合開発環境の準備と使い方、コーディング、デバッグ、基本アルゴリズムの技能を習得する 2. データベースの利用やWebアプリケーションの作成方法を学ぶ 3. チーム開発における注意点やバージョン管理システムなどの基本ツールの使い方を習得する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備			1
	2	統合開発環境(eclipse)のインストール、設定、動作確認			2
	3	統合開発環境(eclipse)でのコーディング・デバッグ演習			8
	4	基本アルゴリズムのプログラミング演習			10
	5	GUI(Swing)プログラムの基礎知識と演習			12
	6	データベース(MariaDB)のインストール、設定、動作確認			2
	7	データベース(MariaDB)のテーブル作成演習			6
	8	データベース(MariaDB)のアクセスプログラム演習			10
	9	デザインパターンMVC (Model-View-Controller)の基礎知識			1
	10	デザインパターンDAO (Data Accesss Object)の基礎知識・演習			6
	11	簡易アプリケーション作成演習			6
	12	チーム開発とバージョン管理システムの基礎知識			2
	13	バージョン管理システム(Git)のインストール、設定、基本操作			2
	14	バージョン管理システム(Git)の演習			6
	15	チーム開発演習			8
	16	Webアプリケーションの基礎知識			2
	17	Webアプリケーション作成演習			8
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	自作プリント、スライド				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題の作成を行う				
成績評価方法	授業態度20pt、演習課題の平均得点80pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
	実務経験紹介				

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	Web開発実習Ⅱ(PHP)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・PHPを用いたWebアプリケーション開発を行いながら、Web関連技術の知識を深める。				
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる。 2,PHP・MySQLを連携した、簡単なWebアプリケーションの作成ができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			0.5
	2	①1章、心の準備編			0.5
	3	①2章、パソコン設定編			1.5
	4	①3章、プログラミング編			9.5
	5	①4章、データベース編			11
	6	②1章、いろいろ準備編			1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成			8
	8	②3章、商品管理システムの作成			7
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成			4
	10	②5章、スキルアップ			4
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成			12
	12	②7章、注文機能の作成			7
	13	②8章、Excelで注文管理			3
	14	②9章、会員機能の作成			4
	15	作品制作			16
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				89
教科書	①いきなりはじめるPHP入門 ②気づけばプロ並みPHP改訂版				
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題65pt、作品提出15pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(セキュリティ実習)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することができる Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り (第3回から第6回までの実習のおさらい)			5
	9	Web診断実習(BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	課題提出と評価			5
	13	プラットフォーム診断1			5
	14	プラットフォーム診断2			5
	15	課題提出と評価			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる 各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			10
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワークを構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークエンジニアの仕事			2
	4	ネットワークの基礎～IPアドレス～			5
	5	Ciscoデバイス操作～基礎編～および実習			5
	6	Ciscoデバイス操作～スイッチ編～および実習			5
	7	スイッチ設定 1 および実習			5
	8	スイッチ設定 2 および実習			5
	9	IPルーティングの基礎および実習			5
	10	IPルーティング～OSPF～および実習			5
	11	IPルーティング～EIGRP～および実習			5
	12	実機実習			5
	13	DHCPの基礎 および実習			5
	14	NAT&PATの基礎 および実習			5
	15	VLAN間ルーティングおよび実習			5
	16	アクセスコントロールリスト(ACL) および実習			5
	17	実技試験			5
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	課題提出40pt、期末試験60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(ヒューマンスキル)	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	グループディスカッション			7
	2	グループディスカッションワーク			10
	3	マンダラチャート作成			8
	4	ディベート			7
	5	コミュニケーション力強化			6
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)			5
	7	リーダー育成			5
	8	プレゼン力強化			10
	9	プレゼン資料作成			10
	10	各項目振り返り			9
	11	プレゼンテーション			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				85
教科書	無し				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで利用されているサービスを導入し、実践的なサーバ構築・設定を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポートの必要性、プレゼンテーション力を強化する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ(さくらインターネットVPS)を操作できる 仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる LinuxOSのインストール、設定ができる CMS・WordPressのインストール、設定ができる Apache(Webサーバ)、MariaDB(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			5
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			5
	4	コマンドとは: 操作、環境変数、ファイルとディレクトリ、パーミッション、テキストエディタ			5
	5	ネットワークとは: ネットワークの知識、ネットワーク設定			5
	6	サーバ構築とは: サーバの概要、ユーザ管理、インストールとアップデート			5
	7	基本的なサーバ管理: システム負荷確認、ディスク使用状況、プロセス、サービス管理			5
	8	Webサーバ: Webサイトの仕組み、サービスのインストール、基本設定、ルート、設定ファイル			5
	9	LAMPとは: 概要、必要なソフトウェアのインストール、設定方法			5
	10	セキュリティ対策: 不正侵入防止法、アップデート、ポート確認、ログイン・ログ確認			5
	11	SSHとは: 概要、コマンド、公開鍵認証、SCP			5
	12	制作1: 個人サーバ構築、成果物			5
	13	制作2: 個人サーバ構築、成果物			5
	14	発表1: プレゼンテーション			5
	15	発表2: プレゼンテーション			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	オリジナル				
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料)				
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅠA(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	データベース入門 I (OSS-DB)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> PostgreSQLを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSのデータを定義したり、操作するための標準言語であるSQLの書き方を学ぶ。 基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を実習を通じて、実践的な学習を行う。 				
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	データベースの環境構築			2
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』			4
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』			8
	5	データ型			2
	6	データベース定義の応用			2
	7	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴			1
	8	2章・データベースの基礎知識			4
	9	3章・インストール			5
	10	4章・標準付属ツール			7
	11	5章・設定ファイル			6
	12	6章・バックアップとリストア			8
	13	7章・基本的な運用管理			7
	14	8章・SQLとオブジェクト			12
	15	9章・組込関数と演算子			3
	16	10章・トランザクション			5
	17	試験対策			36
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				113
教科書	<ul style="list-style-type: none"> オープンソースデータベース標準教科書 OSS教科書OSS-DB Silver Web問題集Ping-t 				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供 Web問題集Ping-tを用いた試験対策				
成績評価方法	授業態度15pt、実習課題40pt、確認テスト15pt、本試験:30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	開発実習Ⅱ(応用)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語でのソフトウェア開発について、上流工程における設計に関するドキュメントの作成や、Webアプリケーションの作成、テストの実施方法などを演習を通して学びます。ソフトウェア開発におけるSEの仕事内容や設計資料をもとに作成すること、ソフトウェアの品質を高めるテスト方法などを学びます				
到達目標	1. ソフトウェア開発の上流工程でどのような資料を作成するか体験的に学びます 2. UML図の作成演習によりUML図の作成方法を学びます 3. チーム開発とテストの実施により、ソフトウェアの効率的な開発と品質を高める方法を学びます				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備			1
	2	統合開発環境(eclipse)のワークスペース変更と動作確認			2
	3	画面レイアウト設計演習			4
	4	データベースのテーブル設計演習			4
	5	クラス詳細設計演習			4
	6	UML図作成演習			4
	7	ユースケース図作成演習			4
	8	シーケンス図作成演習			4
	9	詳細クラス図作成演習			4
	10	テスト仕様書作成演習			4
	11	単体テストの実施方法の基礎知識と演習			8
	12	Webアプリケーション作成演習			24
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			67
教科書	自作プリント、スライド				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題の作成を行う				
成績評価方法	授業態度20pt、演習課題の平均得点80pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門 I (ITN)	担当者	大城 全揮、山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピューターネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティング、スイッチング、アプリケーションプロトコルについての説明が出来る。 ・ルーターの基本設定が出来る。 ・スイッチの基本設定が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	モジュール1:今日のネットワーク			4
	2	モジュール2:基本的なスイッチとエンドデバイスの設定			4
	3	モジュール3:プロトコルとモデル			4
	4	モジュール4:物理層			4
	5	モジュール5:記数法			4
	6	モジュール6:データリンク層			4
	7	モジュール7:イーサネットスイッチング			4
	8	モジュール8:ネットワーク層			4
	9	モジュール9:アドレス解決			4
	10	モジュール10:基本的なルータの設定			6
	11	モジュール11:IPv4アドレッシング			6
	12	モジュール12:IPv6アドレッシング			5
	13	モジュール13:ICMP			5
	14	モジュール14:トランスポート層			5
	15	モジュール15:アプリケーション層			5
	16	モジュール16:ネットワークセキュリティの基礎			6
	17	モジュール17:小規模ネットワークの構築			6
	18	期末試験			5
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
30					
	合計時間数				85
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)				
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習				
成績評価方法	章末試験20pt、実習課題提出20pt、期末試験(筆記)30pt、期末試験(実技)30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習Ⅲ(JS&Laravel)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材(Udemy)を利用してオンデマンド形式の授業を体験。フレームワークを利用した簡単なWebアプリ構築の実習を行う。				
到達目標	1. フレームワークを使ったプログラミングが書けるようになる 2. Webアプリケーション制作を通してMVCモデルを理解する				
授業計画	内 容				授業時間数
1	導入(授業の進め方、評価方法)、Udemyアカウント登録、ブックマーク、環境確認と必要ツールのインストール作業				2
2	Laravel入門(動画時間:19分) 131:Laravelのインストール 132:Laravelの初期設定 133:Laravelキャッシュのクリア方法 134:Laravelデータベース設定 135:Laravelデータベース接続確認 136:Laravelの概要 137:Laravelレート、ビュー 138:Laravel Artisanコマンド 課題1(Laravelのインストールを行い、画面に「Hello!!」を表示)				4
3	Laravel入門(動画時間:23分) 139:Laravelモデル 140:Laravelマイグレーション 141:Laravel tinker 142:Laravelコントローラ 143,144:Laravel MVCモデルの記述方法 145:ヘルパ関数 146:コレクション型 課題2(動画:144の演習を実施)				6
4	Laravel入門(動画時間:69分) 147:クエリビルダ 148:ファサード 149:起動処理DIとサービスコンテナ 150:ブレード(Blade) 151:フロントエンド 152,153:追加動画 154:Laravel-uiと認証 155,156:追加動画 課題3(動画:154の演習を実施)				6
5	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:19分) 157:概要モデル・マイグレーション 158:マイグレーション・追加とロールバック 159:RestFulなコントローラ 課題4(演習実施後、提出)				3
6	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:26分) 160:ルーティング(グループ・認証) 161,162:動画視聴 課題5(演習実施後、提出)				3
7	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 163:Create新規登録 課題6(演習実施後、提出)				2
8	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 164:StoreとRequest保存の前に 課題7(演習実施後、提出)				2
9	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:4分) 165:Store保存 課題8(演習実施後、提出)				2
10	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 166:DBに保存されているデータの取得 課題9(演習実施後、提出)				2
11	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:10分) 167:show表示画面 課題10(演習実施後、提出)				2
12	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 168:edit編集画面 課題11(演習実施後、提出)				2
13	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:3分) 169:update更新画面 課題12(演習実施後、提出)				2
14	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 170:destroy削除機能 課題13(演習実施後、提出)				2
15	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 171:サービスへの切り離し(ファットコントローラ防止) 課題14(演習実施後、提出)				2
16	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 172:バリデーション(フォームリクエスト) 課題15(演習実施後、提出)				4
17	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 173:ダミーデータ(シーダー) 課題16(演習実施後、提出)				2
18	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 174:ダミーデータ(Factory&Faker) 課題17(演習実施後、提出)				3
19	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 175:ページネーション 課題18(演習実施後、提出)				3
20	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 176:検索フォーム 課題19(演習実施後、提出)				4
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
	合計時間数				58
教科書	動画教材Udemy「PHPからLaravelまでサーバーサイドをとことんやってみよう」				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度20pt、実習課題提出点(提出期限内pt含む)80pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(セキュリティ実習)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することができる Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り (第3回から第6回までの実習のおさらい)			5
	9	Web診断実習 (BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習 (OWASP ZAP)			5
	11	課題提出と評価			5
	12	プラットフォーム診断1			5
	13	プラットフォーム診断2			5
	14	課題提出と評価			5
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる 各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			5
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワークを構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークエンジニアの仕事			2
	4	ネットワークの基礎～IPアドレス～			5
	5	Ciscoデバイス操作～基礎編～および実習			5
	6	Ciscoデバイス操作～スイッチ編～および実習			5
	7	スイッチ設定 1 および実習			5
	8	スイッチ設定 2 および実習			5
	9	IPルーティングの基礎および実習			5
	10	IPルーティング～OSPF～および実習			5
	11	IPルーティング～EIGRP～および実習			5
	12	DHCPの基礎 および実習			5
	13	NAT&PATの基礎 および実習			5
	14	VLAN間ルーティングおよび実習			5
	15	アクセスコントロールリスト(ACL) および実習			5
	16	実技試験			5
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	課題提出40pt、期末試験60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法		講義		講義時期		後期	
授業科目	選択実習 IB(ヒューマンスキル)	担当者		長嶺 博紀	科目必修区分		選択		
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 								
授業計画	内 容							授業時間数	
	1	グループディスカッション							7
	2	グループディスカッションワーク							10
	3	マンダラチャート作成							5
	4	ディベート							5
	5	コミュニケーション力強化							5
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)							5
	7	リーダー育成							5
	8	プレゼン力強化							5
	9	プレゼン資料作成							5
	10	各項目振り返り							10
	11	プレゼンテーション							8
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	合計時間数							70	
教科書	無し								
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する								
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員		備考						
実務経験紹介									

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで利用されているサービスを導入し、実践的なサーバ構築・設定を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポートの必要性、プレゼンテーション力を強化する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ(さくらインターネットVPS)を操作できる 仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる LinuxOSのインストール、設定ができる CMS・WordPressのインストール、設定ができる Apache(Webサーバ)、MariaDB(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			5
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			5
	4	コマンドとは: 操作、環境変数、ファイルとディレクトリ、パーミッション、テキストエディタ			5
	5	ネットワークとは: ネットワークの知識、ネットワーク設定			5
	6	サーバ構築とは: サーバの概要、ユーザ管理、インストールとアップデート			5
	7	基本的なサーバ管理: システム負荷確認、ディスク使用状況、プロセス、サービス管理			5
	8	Webサーバ: Webサイトの仕組み、サービスのインストール、基本設定、ルート、設定ファイル			5
	9	LAMPとは: 概要、必要なソフトウェアのインストール、設定方法			5
	10	セキュリティ対策: 不正侵入防止法、アップデート、ポート確認、ログイン・ログ確認			5
	11	制作1: 個人サーバ構築、成果物			5
	12	制作2: 個人サーバ構築、成果物			5
	13	発表1: プレゼンテーション			5
	14	発表2: プレゼンテーション			5
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	オリジナル				
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料)				
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 IB(チャレンジコース)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			69
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	セキュリティ入門 I (Security+)	担当者	山口 雅樹・福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	CompTIA Security+認定資格のカリキュラムを通じ、情報セキュリティの脅威や攻撃、脆弱性の内容だけでなく、セキュリティアーキテクチャや設計・実装、運用やインシデントレスポンスまで学んでいく。授業は、Udemyの”CompTIA Security+ (SY0-601) Bootcamp”の視聴を通じ、教員による各セクションの概要説明や小テストを通じて学修していく。				
到達目標	1. 「情報セキュリティ」の概念についての説明ができる。 2. ComTIA Securiry+ の試験に合格する。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	シラバス説明(授業目的・年間スケジュール・取得目標検定説明)			1
	2	1 Overview of Security 1時間3分			3
	3	2 Malware 32分			2
	4	3 Malware Infections 53分			3
	5	4 Security Applications and Devices 42分			2
	6	5 Mobile Device Security 33分			2
	7	6 Hardening 33分			2
	8	7 Supply Chain Management 19分			1
	9	8 Virtualization 22分			2
	10	9 Application Security 22分			2
	11	10 Secure Software Development 1時間11分			5
	12	11 Network Design 36分			2
	13	12 Perimeter Security 26分			2
	14	13 Cloud Security 55分			3
	15	14 Automation 29分			2
	16	15 Network Attacks 49分			3
	17	16 Securing Networks 57分			4
	18	振り返り			1
	19	中間試験 6月上旬			1
	20	17 Physical Security 14分			1
	21	18 Facilities Security 47分			3
	22	19 Authentication 36分			3
	23	20 Access Control 37分			2
	24	21 Risk Assessments 35分			2
	25	22 Vulnerability Management 53分			3
	26	23 Monitoring and Auditing 52分			3
	27	24 Cryptography 48分			3
	28	25 Hashing 16分			1
	29	26 Public Key Infrastructure 21分			2
	30	27 Security Protocols 18分			2
	31	28 Planning for the Worst 51分			3
	32	29 Social Engineering 40分			2
	33	30 Policies and Procedures 1時間15分			5
	34	31 Incident Response and Forensics 1時間25分			5
	35	32 Conclusion 13分			1
	36	33 Practice Exam 90問/90分			4
	37	振り返り			1
	38	期末試験 8月中旬			1
	39	本試験対策、試験受験(10月)			32
	合計時間数			122	
教科書	なし (Udemyのスタディガイドと教員のオリジナル解説資料を利用する)				
時間外学習	Udemy視聴により授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題・資格試験受験に向けた勉強 The Official CompTIA Security+ Self-Paced Study Guide (試験番号:SY0-601) eBook 日本語版				
成績評価方法	前期(授業態度20pt、課題提出20pt、中間試験 30pt、期末試験30pt) 後期(授業態度、模擬試験と本番試験で評価) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術Ⅱ(LinuC102)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	システム構築において、オンプレミス環境だけでなく、クラウド環境やオープンソース文化に関連したLinuxOSの知識・技術を学ぶ。仮想マシンを用いて知識習得・動作確認による実践力をつける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シェル環境のカスタマイズ、シェルスクリプトの活用ができる。 ・ネットワークの基礎設定、構成、問題解決、クライアント側の設定ができる。 ・アカウント管理、ジョブスケジューリング、国際化対応プログラム活用ができる。 ・システム時刻管理、システムログ管理、メール配送の基礎設定ができる。 ・セキュリティ基礎操作、ホストのセキュリティ設定、暗号化技術を利用できる。 ・オープンソースウェアの概念とライセンスを理解する。 ・LPI-Japan認定 LinuCレベル1-102を取得する。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:LinuCレベル1-102の試験概要、環境設定の確認			2
2	序章:LinuCレベル1-101の復習(振り返り)			5	
3	第6章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)			8	
4	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第6章			7	
5	第7章:ネットワークの基礎(講義と実践)			8	
6	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第7章			7	
7	第8章:システム管理(講義と実践)			6	
8	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第8章			7	
9	第9章:必須システムサービス(講義と実践)			6	
10	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第9章			7	
11	第10章:セキュリティ(講義と実践)			6	
12	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第10章			10	
13	第11章:オープンソースの文化(講義と実践)			4	
14	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第11章			4	
15	模擬試験:第1回～第3回 実施と解説			12	
16	本試験;実施			2	
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
	合計時間数				101
教科書	LinuCレベル1 合格教本[101試験、102試験対応]バージョン10.0				
	Linux教科書「図解でパッとわかる LPIC/LinuC」				
時間外学習	LinuCレベル1 スピードマスター問題集[101試験、102試験]Ver.10.0対応				
	IT試験学習サイト「Ping-t」				
	「【LinuC レベル1】101 + 102試験対策講座」任意 (Udemy:オンデマンド)				
成績評価方法	出席率20pt、単元課題40pt、授業態度20pt、本試験20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法		講義・実習		講義時期		前期		
授業科目	プログラミング言語Ⅲ(Python)	担当者		福士 とよみ	科目必修区分		必修			
授業概要	Python言語の基本文法、オブジェクト指向プログラミング(クラス・オブジェクト)を学習する。 Pythonを使った、デスクトップアプリやスクレイピングのプログラミングを体験する。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なPython言語のプログラムを作ることができる。 オブジェクト指向プログラミングの考え方に沿ったプログラムが作成できる。 技術者として成長するため、高い意識を持ってプログラミングにチャレンジできる。 									
授業計画	内 容							授業時間数		
	1	開発環境の整備							2	
	2	セクション1: イントロダクション							1	
	3	セクション2: 学習の準備をしよう							2	
	4	セクション3: 基本的なコードを書こう							6	
	5	セクション4: 演算子を使ってみよう							6	
	6	セクション5: データをまとめて扱おう							8	
	7	セクション6: 制御文を書いてみよう							8	
	8	セクション7: 文章を扱ってみよう							8	
	9	セクション8: 関数に処理をまとめてみよう							12	
	10	セクション9: オブジェクト指向を学ぼう							12	
	11	セクション10: ファイルと例外処理を学ぼう							8	
	12	セクション11: デスクトップアプリを作ってみよう							6	
	13	セクション12: Webスクレイピングをやってみよう							6	
	14	セクション13: さらに学びたい方のために							1	
	15	セクション14: ボーナスレクチャー							1	
	16	予備							3	
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	合計時間数							90		
教科書	【動画教材】はじめてのPython 少しずつ丁寧に学ぶプログラミング言語Python3のエッセンス 教員の自作教材									
時間外学習	授業時間内で終わらなかったUdemy視聴、演習問題、実習課題 オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供									
成績評価方法	授業態度20pt、動画の視聴状況40pt、課題の提出40pt 学校基準により4段階評価とする									
担当詳細	教員	備考								
実務経験紹介										

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ログ分析実習 I A(Splunk)	担当者	大城 全揮・山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> •Splunkの環境構築ができる。 •Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。 •Splunkに対して拡張機能を導入し利用することができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、シラバス・コマ配分説明、Splunk紹介			5
	2	実習環境構築/User登録			5
	3	BASICハンズオン1 データ登録、サーチ基礎 (Splunk社 資料利用)			5
	4	BASICハンズオン2			3
	5	BASICハンズオン3			3
	6	SSHハンズオン/SPLの基本			5
	7	Search Tutorial 1 (Splunk社 資料利用)			3
	8	Search Tutorial 2 (Splunk社 資料利用)			3
	9	Search Tutorial 3 (Splunk社 資料利用)			3
	10	環境再構築(ライセンス更新/MBSD実習環境事前構築/e-Learnig)			5
	11	MBSD社授業前 環境事前構築/e-Learning			3
	12	MBSD社授業			10
	13	環境再構築/前期授業振り返り(BASICハンズオン)			2
	14	前期授業振り返り (SSHハンズオン)			2
	15	前期授業振り返り (Serch Tutorial ハンズオン)			2
	16	前期授業振り返り (MBSD授業ハンズオン)			2
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				61
教科書	•e-Learning教材 ・自作教材				
時間外学習	Splunk Core Certified User受験に向けた学習				
	成果物作成に向けた学習				
成績評価方法	授業態度 20pt、課題提出(動画) 40pt、課題提出(e-Learning) 40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅡA	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1. 導入			1
	2	2. 良い習慣を身につける			1
	3	3. コミュニケーション力を高める			4
	4	4. 他者理解			4
	5	5. 自己理解			4
	6	6. 思いを言語化する			2
	7	7. スケジュール管理			2
	8	8. 情報収集力			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				20
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	授業態度30pt 取り組み姿勢40p 提出物30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(セキュリティ実習)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することができる Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り (第3回から第6回までの実習のおさらい)			5
	9	Web診断実習(BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	課題提出と評価			5
	13	プラットフォーム診断1			5
	14	プラットフォーム診断2			5
	15	課題提出と評価			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法		講義・実習		講義時期		前期	
授業科目	選択実習ⅡA(レゴロボ実習)	担当者		大城 政邦	科目必修区分		選択		
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる 各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 								
授業計画	内 容							授業時間数	
	1	環境構築							5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)							5
	3	C言語基礎(プログラム作成)							10
	4	EV3組立て、Scratch基礎							5
	5	EV3プログラミング(Scratch)							5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用							10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース							10
	8	C言語環境構築							5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用							10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース							10
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	合計時間数							75	
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料								
時間外学習	課題の作成と提出								
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員			備考					
実務経験紹介									

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワークを構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークエンジニアの仕事			2
	4	ネットワークの基礎～IPアドレス～			5
	5	Ciscoデバイス操作～基礎編～および実習			5
	6	Ciscoデバイス操作～スイッチ編～および実習			5
	7	スイッチ設定 1 および実習			5
	8	スイッチ設定 2 および実習			5
	9	IPルーティングの基礎および実習			5
	10	IPルーティング～OSPF～および実習			5
	11	IPルーティング～EIGRP～および実習			5
	12	実機実習			5
	13	DHCPの基礎 および実習			5
	14	NAT&PATの基礎 および実習			5
	15	VLAN間ルーティングおよび実習			5
	16	アクセスコントロールリスト(ACL) および実習			5
	17	実技試験			5
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	課題提出40pt、期末試験60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(ヒューマンスキル)	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	グループディスカッション			7
	2	グループディスカッションワーク			10
	3	マンダラチャート作成			8
	4	ディベート			7
	5	コミュニケーション力強化			6
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)			5
	7	リーダー育成			5
	8	プレゼン力強化			10
	9	プレゼン資料作成			10
	10	各項目振り返り			9
	11	プレゼンテーション			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				85
教科書	無し				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで利用されているサービスを導入し、実践的なサーバ構築・設定を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポートの必要性、プレゼンテーション力を強化する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ(さくらインターネットVPS)を操作できる 仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる LinuxOSのインストール、設定ができる CMS・WordPressのインストール、設定ができる Apache(Webサーバ)、MariaDB(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			5
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			5
	4	コマンドとは: 操作、環境変数、ファイルとディレクトリ、パーミッション、テキストエディタ			5
	5	ネットワークとは: ネットワークの知識、ネットワーク設定			5
	6	サーバ構築とは: サーバの概要、ユーザ管理、インストールとアップデート			5
	7	基本的なサーバ管理: システム負荷確認、ディスク使用状況、プロセス、サービス管理			5
	8	Webサーバ: Webサイトの仕組み、サービスのインストール、基本設定、ルート、設定ファイル			5
	9	LAMPとは: 概要、必要なソフトウェアのインストール、設定方法			5
	10	セキュリティ対策: 不正侵入防止法、アップデート、ポート確認、ログイン・ログ確認			5
	11	SSHとは: 概要、コマンド、公開鍵認証、SCP			5
	12	制作1: 個人サーバ構築、成果物			5
	13	制作2: 個人サーバ構築、成果物			5
	14	発表1: プレゼンテーション			5
	15	発表2: プレゼンテーション			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	オリジナル				
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料)				
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	システム構築技術Ⅲ(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通してオンデマンド学習「Udemy」を活用し、体系的に学んでいく。社会で利用されているLAMPサーバ環境を構築し、フロントエンドからバックエンドで利用されている各サービスの導入、実践的なサーバ構築・設定でインフラエンジニアの仕事内容およびプロセスを一通り学ぶ。ホスティングサーバを中心とするデータセンター事業およびインターネットサービス事業を行う「さくらインターネット」のVPSサービスを利用し、オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ構築手順を理解できる Linuxサーバ(さくらインターネットVPSもしくはAmazonLinux2023)を操作できる 仮想マシンVirtualBox、LinuxOS、WebサービスApache、データベースMariaDB、プログラミング言語PHP、CMS・WordPressのインストール、設定ができる データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる サーバ構築の基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	ディストリビューションのインストール:CentOS			5
	3	CentOS7をVPSにインストール・設定・検証			5
	4	サーバ管理:サーバの負荷チェック			5
	5	サーバ管理:ディスク・メモリ使用状況のチェック			5
	6	LAMP環境の構築:httpd、PHP7、MariaDB、WordPressのインストール			5
	7	LAMP環境の構築:Webページの作成			5
	8	成果物制作			8
	9	プレゼンテーション			5
	実習				
	1	VirtualBox、ディストリビューションのインストールと設定:講義1			4
	2	ディストリビューション「CentOS7」のインストールと設定:講義2			4
	3	コンテナ「Docker」のインストールと設定・基本的操作:講義4			4
	4	Webサーバ「Apache」のインストールと設定・ネットワークの設定:講義8			6
	合計時間数				66
教科書	さくらインターネットサイト「入門ガイド:VPS」 オンデマンド学習「Udemy」				
時間外学習					
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	実習・講義	講義時期	後期
授業科目	Webフレームワーク入門(Django)	担当者	福士 とよみ	科目必修区分	必修
授業概要	Pythonで実装されたフレームワークであるDjangoで、Webアプリの開発を行う。Djangoでの開発を体験することによって、Webアプリケーション、フレームワークについて知る。 また、オンデマンド教材を活用し、最先端の技術をいち早く身に付ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーション、フレームワーク、Djangoについて説明できる。 Djangoを使った、基礎的なWebアプリケーションを作成できる。 技術者として成長するため、高い意識を持ってアプリの開発にチャレンジできる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入・授業の進め方について			1
	2	セクション1:Djangoのバージョンと講義内容につきまして			0.5
	3	セクション2:はじめに (Django2/3共通)			0.5
	4	セクション9:フレームワークとは (Django3)			1
	5	セクション10:仮想環境の構築 (Django3)			4
		セクション11:Hello world アプリ (Django3)			
	6	Djangoの起動・プロジェクトとsettings.pyファイル			2
	7	Hello world の表示 (function based view)			1
	8	Hello world の表示 (class based view)			1
	9	BASE_DIR の実験			1
	10	app is called! の表示 (Djangoの「アプリ」を使用)			2
	11	【Hello world アプリ 履修後の課題】			4
		セクション12:Todoアプリ (Django3)			
	12	初期設定			1
	13	モデル(テーブル)の作成			2
	14	管理ユーザの作成			1
	15	ListView(一覧表示画面)			2
	16	DetailView(詳細表示画面)・Bootstrap・base.html・list.html改訂			4
	17	CreateView(新規作成画面)			2
	18	DeleteView(削除画面)・UpdateView(更新画面)・レイアウトの調整			4
	19	【ToDo アプリ 履修後の課題】			7
		セクション13:社内SNSアプリ (Django3)			
	20	初期設定			1
	21	SignupView(ユーザ登録画面)			4
	22	LoginView(ログイン画面)・ListView(一覧表示画面)			2
	23	Imageファイル、CSSファイルの扱い方・ログアウト機能			2
	24	DeleteView(削除画面)			2
	25	いいね機能、既読機能			1
26	CreateView(新規作成画面)			2	
27	【社内SNS アプリ 履修後の課題】			8	
29	まとめ、予備				
	合計時間数			63	
教科書	(Udemy教材)【徹底的に解説!】Djangoの基礎をマスターして、3つのアプリを作ろう! 教員の自作教材				
時間外学習	授業時間内で終わらなかったレクチャーの視聴				
	期限までに課題アプリを完成させるための時間外学習				
成績評価方法	授業態度20pt、提出課題39pt、課題アプリの作成41pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	ログ分析実習 I B(Splunk)	担当者	大城 全揮・山口 雅樹	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkを活用し、データを解析・インシデント調査を行い対策方法を含めた発表をPBL形式で行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Splunkを活用しデータの解析ができる。 ・インシデントの特定ができる。 ・インシデントに対して対策方法を提示することができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(シラバス・コマ配分説明)			2
	2	PBL演習準備/調査トレーニング			4
	3	PBL演習/チーム分け			2
	4	PBL演習/構築開始			2
	5	PBL演習/発表資料作成			15
	6	PBL中間発表			2
	7	環境再構築 MBSD発表資料作成(PBL)			2
	8	MBSD発表資料作成(PBL)			23
	9	PBL演習発表/MBSD授業			10
	10	振り返り			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				64
教科書	・e-Learning教材 ・自作教材				
時間外学習	成果物作成に向けた学習				
成績評価方法	中間発表 40pt、本番発表 40pt、資料提出 20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザインⅡB	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会の構造、企業の構造など、社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方について学習・演習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己分析や企業研究など自発的に取り組み、履歴書を完成させることができる。 基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる SPI、CAB、GAB試験の内容を理解し効率的に問題を解くことができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1章:就職活動の基礎を整える			
	2	1-1:身だしなみを整える、履歴書の準備、採用試験(面接)の受け方			0.5
	3	1-2:KBC学園センスアップセミナー			0.5
	4	2章:就職活動の実践			
	5	2-1:KBC学園の就職斡旋規定			0.5
	6	2-2:就職活動のスケジュールリング			0.5
	7	2-3:KBC学園就職活動の流れ			0.5
	8	2-4:企業情報の収集方法			0.5
	9	2-5:企業訪問・会社説明会			0.5
	10	2-6:求人票の見方			0.5
	11	2-7:企業情報のまとめ方			0.5
	12	2-8:面接試験に備える(志望動機の作成)			0.5
	13	2-9:採用試験(事前準備と注意事項)			0.5
	14	2-10:添え状・詫び状			0.5
	15	2-11:内定を辞退する場合			0.5
	16	3章:社会人になる前に			
	17	3-1:新入社員として			0.5
	18	3-2:すぐに必要となるビジネスマナー			1
	19	センスアップセミナー(準備・実践)			20
	17	会社説明会及び面接対策			47
	18	SPI、CAB、GABについて対策			
	19	外部機関による就職講和および演習等の実施			
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
28					
29					
30					
	合計時間数				75
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価方法	授業態度20pt、履歴書完成度20pt、取り組み姿勢40p、提出物20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	志学Ⅱ	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に、社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、ロールモデルを探し自身の「志」を具体化させていく事を目指す。				
到達目標	志高い人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、他者理解を含め、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てることができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章			2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは			2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ			6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く			2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く			6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」			2
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				20
教科書	志学 I・II (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)				
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		実習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーII	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	・面接時の好感の持てる応答の仕方を演習を通して学習する				
到達目標	・面接時の基本的な立ち居振る舞いを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己PR文の作成のポイント			2
	2	【演習】グループ面接時の入退室・自己紹介			2
	3	【演習】グループ面接(入退室+質疑応答)			12
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				16
教科書	実践ビジネスマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率30pt、授業態度35pt、提出物35pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(セキュリティ実習)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することができる Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り (第3回から第6回までの実習のおさらい)			5
	9	Web診断実習(BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)			5
	11	課題提出と評価			5
	12	プラットフォーム診断1			5
	13	プラットフォーム診断2			5
	14	課題提出と評価			5
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる 各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			5
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワークを構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークエンジニアの仕事			2
	4	ネットワークの基礎～IPアドレス～			5
	5	Ciscoデバイス操作～基礎編～および実習			5
	6	Ciscoデバイス操作～スイッチ編～および実習			5
	7	スイッチ設定 1 および実習			5
	8	スイッチ設定 2 および実習			5
	9	IPルーティングの基礎および実習			5
	10	IPルーティング～OSPF～および実習			5
	11	IPルーティング～EIGRP～および実習			5
	12	DHCPの基礎 および実習			5
	13	NAT&PATの基礎 および実習			5
	14	VLAN間ルーティングおよび実習			5
	15	アクセスコントロールリスト(ACL) および実習			5
	16	実技試験			5
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	課題提出40pt、期末試験60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法		講義		講義時期		後期	
授業科目	選択実習ⅡB(ヒューマンスキル)	担当者		長嶺 博紀	科目必修区分		選択		
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 								
授業計画	内 容							授業時間数	
	1	グループディスカッション							7
	2	グループディスカッションワーク							10
	3	マンダラチャート作成							5
	4	ディベート							5
	5	コミュニケーション力強化							5
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)							5
	7	リーダー育成							5
	8	プレゼン力強化							5
	9	プレゼン資料作成							5
	10	各項目振り返り							10
	11	プレゼンテーション							8
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	合計時間数							70	
教科書	無し								
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する								
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員		備考						
実務経験紹介									

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで利用されているサービスを導入し、実践的なサーバ構築・設定を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポートの必要性、プレゼンテーション力を強化する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ(さくらインターネットVPS)を操作できる 仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる LinuxOSのインストール、設定ができる CMS・WordPressのインストール、設定ができる Apache(Webサーバ)、MariaDB(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			5
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			5
	4	コマンドとは:操作、環境変数、ファイルとディレクトリ、パーミッション、テキストエディタ			5
	5	ネットワークとは:ネットワークの知識、ネットワーク設定			5
	6	サーバ構築とは:サーバの概要、ユーザ管理、インストールとアップデート			5
	7	基本的なサーバ管理:システム負荷確認、ディスク使用状況、プロセス、サービス管理			5
	8	Webサーバ:Webサイトの仕組み、サービスのインストール、基本設定、ルート、設定ファイル			5
	9	LAMPとは:概要、必要なソフトウェアのインストール、設定方法			5
	10	セキュリティ対策:不正侵入防止法、アップデート、ポート確認、ログイン・ログ確認			5
	11	制作1:個人サーバ構築、成果物			5
	12	制作2:個人サーバ構築、成果物			5
	13	発表1:プレゼンテーション			5
	14	発表2:プレゼンテーション			5
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				70
教科書	オリジナル				
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ:さくらのVPS講座」(参考資料)				
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(チャレンジコース)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			69
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	機械学習演習 I (scikit-learn)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材を通じ、機械学習の基礎理論や Python の機械学習ライブラリである scikit-learn を用いたプログラミングを行う。				
到達目標	1. 機械学習の基本となる理論を理解する 2. Python の機械学習ライブラリである scikit-learn を用いてプログラミングできる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業の導入			2
	2	AI活用事例			3
	3	機械学習の基礎と精度の測り方			8
	4	JupyterNotebook			1
	5	numpy			6
	6	matplotlib			6
	7	pandas			6
	8	基本統計量			6
	9	線形回帰①(単回帰分析)			6
	10	線形回帰②(重回帰分析)			6
	11	ロジスティック回帰			6
	12	SVM(サポート・ベクトル・マシーン)			6
	13	ランダムフォレスト			6
	14	K-means法			6
	15	PCA(主成分分析)			6
	16	データの前処理			6
	17	タイタニックのデータで機械学習			6
	18	3つ以上のデータの分類			6
	19	その他実習			23
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				121
教科書	動画教材Udemy「はじめてのAI」 動画教材Udemy「【G検定の一部対策に】DX推進者に不可欠なAI・機械学習の基礎と精度の測り方をコンパクトに学ぼう！」 動画教材Udemy「JupyterNotebookで学習する機械学習の初歩からKaggleの初歩まで」 paizaラーニング「Python×AI・機械学習入門編」				
時間外学習	実習課題作成と提出、講座の復習				
成績評価方法	授業態度20pt.、実習課題提出点60pt、その他課題20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	仮想化演習 I (AWS:初級)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	クラウドの概念・セキュリティ・テクノロジー・請求と料金など、クラウド技術の中心となる仮想化技術を、クラウド環境を用いて学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・AWSクラウドのITサービスおよびその用途のベーシックな知識が説明出来る。 ・AWSのコアサービスとユースケース、課金、料金モデル、セキュリティコンセプト、クラウドがビジネスに与える影響についての説明が出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション、1章:AWS認定資格			10
	2	2章:AWSクラウドの概念			10
	3	3章:AWSのセキュリティ			10
	4	4章:AWSのテクノロジー			10
	5	5章:コンピューティングサービス			10
	6	6章:ストレージサービス			10
	7	7章:ネットワークサービス			10
	8	8章:データベースサービス			10
	9	9章:管理サービス			10
	10	10章:請求と料金			10
	11	試験対策			24
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				124
教科書	AWS認定クラウドプラクティショナーテキスト、AWSアカデミー提供動画				
時間外 学習	章末試験の実施				
	事業内で実施したラボ実習の復習				
成績評価 方法	授業態度20pt、章末試験30pt、資格試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	卒業研究 I A	担当者	今頭 翔太、他	科目必修区分	必修
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに沿った技術の習得 研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	チーム決め・研究テーマの選択・開発計画の策定			14
	3	研究テーマに沿った学習・開発			76
	4	中間発表の準備			30
	5	中間発表会			5
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				126
教科書	なし				
時間外学習	研究テーマについての自己学習				
成績評価方法	授業態度:30pt、中間発表成果物:70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅢ	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 自己を振り返る手法(自己分析)を理解し習得できるようになる。 2. 社会で活躍するためのスキルを理解し、身に付けるための行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明(履修に対する動機づけ)			1
	2	未内定者 ・履歴書のブラッシュアップと作成 ・自己PRの内容強化 ・志望動機の内容確認 ・面接の練習 ・就職試験受験後の振り返りと対策 内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施			77
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価方法	授業態度20pt、履歴書完成度20pt、取り組み姿勢40pt、提出物20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(セキュリティ実習)	担当者	山口 雅樹	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することができる Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる 脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）			5
	9	Web診断実習(BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	課題提出と評価			5
	13	プラットフォーム診断1			5
	14	プラットフォーム診断2			5
	15	課題提出と評価			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる 各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる チームでの作業を通じてチームワークを身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、ライントレース			10
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワークを構築する際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション: 講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークエンジニアの仕事			2
	4	ネットワークの基礎～IPアドレス～			5
	5	Ciscoデバイス操作～基礎編～および実習			5
	6	Ciscoデバイス操作～スイッチ編～および実習			5
	7	スイッチ設定 1 および実習			5
	8	スイッチ設定 2 および実習			5
	9	IPルーティングの基礎および実習			5
	10	IPルーティング～OSPF～および実習			5
	11	IPルーティング～EIGRP～および実習			5
	12	実機実習			5
	13	DHCPの基礎 および実習			5
	14	NAT&PATの基礎 および実習			5
	15	VLAN間ルーティングおよび実習			5
	16	アクセスコントロールリスト(ACL) および実習			5
	17	実技試験			5
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	課題提出40pt、期末試験60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(ヒューマンスキル)	担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	グループディスカッション			7
	2	グループディスカッションワーク			10
	3	マンダラチャート作成			8
	4	ディベート			7
	5	コミュニケーション力強化			6
	6	社会人としての基礎知識(政治・経済など)			5
	7	リーダー育成			5
	8	プレゼン力強化			10
	9	プレゼン資料作成			10
	10	各項目振り返り			9
	11	プレゼンテーション			8
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				85
教科書	無し				
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する				
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(サーバ構築運用)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	これまで学んだ科目を「サーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。社会で利用されているサーバ(さくらインターネット)にフロントエンドからバックエンドで利用されているサービスを導入し、実践的なサーバ構築・設定を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を学ぶ。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポートの必要性、プレゼンテーション力を強化する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Linuxサーバ(さくらインターネットVPS)を操作できる 仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる LinuxOSのインストール、設定ができる CMS・WordPressのインストール、設定ができる Apache(Webサーバ)、MariaDB(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)の他サービスとの連携、管理ができる ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	講義				
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要、環境設定			5
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定			5
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン			5
	4	コマンドとは: 操作、環境変数、ファイルとディレクトリ、パーミッション、テキストエディタ			5
	5	ネットワークとは: ネットワークの知識、ネットワーク設定			5
	6	サーバ構築とは: サーバの概要、ユーザ管理、インストールとアップデート			5
	7	基本的なサーバ管理: システム負荷確認、ディスク使用状況、プロセス、サービス管理			5
	8	Webサーバ: Webサイトの仕組み、サービスのインストール、基本設定、ルート、設定ファイル			5
	9	LAMPとは: 概要、必要なソフトウェアのインストール、設定方法			5
	10	セキュリティ対策: 不正侵入防止法、アップデート、ポート確認、ログイン・ログ確認			5
	11	SSHとは: 概要、コマンド、公開鍵認証、SCP			5
	12	制作1: 個人サーバ構築、成果物			5
	13	制作2: 個人サーバ構築、成果物			5
	14	発表1: プレゼンテーション			5
	15	発表2: プレゼンテーション			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書	オリジナル				
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料)				
成績評価方法	毎回のレポート30pt、毎回のスピーチ30pt、期末プレゼン20pt、成果物20pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅢA(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジューリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジューリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義、実習	講義時期	後期
授業科目	機械学習演習Ⅱ(Rとtidymodels)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	動画教材を通じ、Pythonとともにビッグデータ解析、AIの分野で利用されているR言語を学習する。さらに、tidymodelsパッケージを使用した予測モデリングを体験することにより、データ分析プロジェクトについても理解する。				
到達目標	1. R言語の基礎的なプログラムを作成できる。 2. データ分析プロジェクトにおける予測モデリングについて説明できる。 3. tidymodelsを使った、基礎的な予測モデリングを行うことができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入・授業の進め方について			1
	2	R/Rstudioベーシック講座【データ処理・グラフ作成】			1
	3	Sec.1～2: データ分析・R/Rstudioの全体像			2
	4	Sec.3: 環境設定			2
	5	Sec.3: データの読み込み・書き出し			2
	6	Sec.4: データフレームと変数			2
	7	Sec.5: データのグラフ化			3
	8	Sec.6: データフレームの操作			4
	9	Sec.7: データフレームの集計			2
	10	AIエンジニアが教えるRとtidymodelsによる機械学習と予測モデリング			1
	11	Sec. 1～ 9: 予測モデリングとは			8
	12	Sec.11 : tidymodelsとは			1
	13	Sec.12 : データ分析			3
	14	Sec.13 : データ分割			4
	15	Sec.14 : 学習ルール			1
	16	Sec.15 : 特徴量エンジニアリング			5
	17	Sec.16 : レシピと学習ルール			4
	18	Sec.17 : ハイパラチューニング			6
	19	Sec.18 : モデルの評価			2
	20	Sec.19 : モデルの整理			1
	21	Sec.20 : 説明変数の評価			1
	22	Sec.21～28: 総合演習			10
	23	評価テスト(学習モデリング課題の作成)			10
	24	まとめ、予備			3
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				79
教科書	(Udemy)R/RStudioベーシック講座【データ処理・グラフ作成】 (Udemy)AIエンジニアが教えるRとtidymodelsによる機械学習と予測モデリング				
時間外学習	後半部分の環境設定 および 授業時間内で終わらなかったレクチャー 期限までに評価テスト(学習モデリング課題の作成)を完成させるための時間外学習				
成績評価方法	授業態度20pt、提出課題50pt、評価テスト30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	仮想化技術II(AWS:中級)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	AWS Well-Architected Frameworkの概念に基づいたシステム設計・構築・運用する上で5つの原則とベストプラクティス(最適な活用法)をクラウド環境を用いて学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・可用性、耐障害性、信頼性を考慮したアプリケーションの設計ができる。 ・AWSにおけるコンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、データベースの説明ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	Udemy動画を使用した構築実習			15
	3	1章:AWS認定資格			4
	4	2章:グローバルインフラストラクチャとネットワーク			4
	5	3章:ネットワーキングとコンテンツ配信			5
	6	4章:コンピューティングサービス			5
	7	5章:運用支援サービス			5
	8	6章:ストレージサービス			5
	9	7章:データベースサービス			5
	10	8章:セキュリティとアイデンティティ			5
	11	9章:アプリケーションサービス			5
	12	10章:開発者ツール			5
	13	11章:プロビジョニングサービス			5
	14	12章:分析サービス			5
	15	13章:AWSのアーキテクチャ設計			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				79
教科書	AWS認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト 改訂第2版、AWSアカデミー提供動画、Udemy動画				
時間外学習	章末試験の実施				
	事業内で実施したラボ実習の復習				
成績評価方法	課題提出20pt、章末テスト30pt、期末試験50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	卒業研究 I B	担当者	今頭 翔太、他	科目必修区分	選択
授業概要	個人ごともしくはグループで、自ら課題を定義し、それをこれまでに学んだ技術・知識を用いて解決し各種の制作物を成果物として作成する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに沿った技術の習得 研究テーマの発表を通して、円滑に発表する事が出来る 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	開発スケジュールの見直し			1
	2	研究テーマに沿った学習・開発			68
	3	発表に向けた準備			28
	4	卒業研究発表会			5
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				102
教科書	なし				
時間外学習	研究テーマについての自己学習				
成績評価方法	授業態度:30pt、本番発表成果物:70pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)4年次		実習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	選択
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する				
到達目標	・身だしなみの重要性を認識し、TPOに合わせ身だしなみを整えることが出来る・名刺の正しい扱い方を身につける(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会人としての心構え(学生と社会人の違い、身だしなみ、言葉遣い)			2
	2	尊敬語と謙譲語の使い分け			4
	3	名刺の取り扱い方			
	4	【演習】名刺の受け方・出し方、同時交換の仕方			2
	5	来客応対(応接室や乗り物などの席次)			2
	6	電話応対			
	7	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)			4
	8	【演習】かけ方			2
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				16
教科書	実践ビジネスマナー				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率30pt、授業態度35pt、提出物35pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)2年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザイン I B(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる 問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			59
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				60
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					